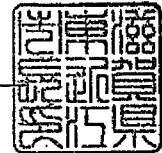


東道河第 488 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

東近江市長 中村 功



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

秋涼の候 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、市行政に格別のご理解ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。
す。

さて、ご依頼のありました表題の件について別紙のとおり回答しますので、
よろしく申し上げます。

今後の道路行政について

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

滋賀県東近江市

- 1 地方が必要とする道路整備が着実に行えるよう道路整備財源を十分確保すること。
- 2 新たな整備計画の策定する際には、地方の意見を把握、反映することにより、高速道路をはじめ地方が真に必要な道路を確実に盛り込むこと。
- 3 地方道路整備臨時交付金は、市町村道路の整備に有効な制度であり、整備中の道路もあることから同制度を維持し、さらに拡充すること。
- 4 地方における財政的な負担を軽減するため、今年度創設された地方道路整備臨時貸付金を継続すること。
- 5 暫定税率の失効に伴う地方の減収分については、国の責任において、確実かつ実効性のある財源措置を行なうこと。

平成の合併により、市の管理する道路域が増大し、道路整備並びに維持管理等の道路財源問題は、市財政にとって極めて重要な問題である。特に道路特定財源の一般財源化という国の方針が示されたことで、整備しなければならない道路が整備されないのではないか、地域市民は最低限、安心して定住できる環境を整えて欲しい、そういう思いで道路整備に期待をされている。

本市には国土幹線である名神高速道路をはじめ、国道8号、307号、421号、477号が主軸路を形成し、県道や幹線市道が連絡する形でネットワーク化している。しかし、市内及び周辺市町へのアクセスは十分といえず、市内の道路は未整備区間も多く、広域的な幹線道路を含めた道路整備を進める必要がある。国土幹線のうち、国道8号は市内通過区域の渋滞緩和を図るため、県道神郷彦根線の整備推進を県に働きかけている。また、国道307号、国道477号必佐バイパスでは、事業の早期実現に向けた取り組みを進めています。さらに、国道421号は永源寺地域東部の山間部で幅員が狭小で、急勾配、急カーブが連続することから、三重県方面とのアクセス機能を高めるために石樽峠道路（トンネル化）の整備が進められ本年貫通する予定であります。また、名阪国道から名神高速道路（蒲生地域）に（仮称）蒲生スマートICの設置を進め、国道8号に至る連絡道路の整備促進の活動を展開している。市内幹線道路は、愛知川沿岸道路整備に向けた取り組みを進めるとともに、近江八幡方面やJR駅へのアクセス向上と市街地の渋滞緩和を図るため道路整備を進める必要がある。今後は国土幹線と市内道路網との連絡機能の向上や、市内県道路線の道路改修をはじめ、都市計画道路や主要市道路線の整備を推進していく必要がある。また、生活道路（里道）は、居住者の安全性の確保が課題となっており、歩行者や自転車が安心して通行できるよう自転車道や歩道の整備を進める必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②—2 地域の目指すべき将来像

滋賀県東近江市

東近江地域は、国道8号、307号、477号、421号、名神高速道路が通る交通要衝であり、近畿と中部圏を結ぶ名神名阪連絡道路の整備構想を進めている。国土交通省が既存の高速道路の有効活用や地域経済活性化を目的に建設、管理コストの削減可能なスマートインター導入を推進していることから、名神八日市インターと竜王インターとの間の12.7キロの真中に蒲生スマートICを一般道との接続に関して、(仮称)蒲生スマートIC設置検討会が整備手法や運営上の課題等を調査研究され、市道横山平石線が接続に適しているとの見解を出し、ETC搭載車両のみ24時間乗り降り可能なフルインター形式のインター設置実現に向けて、蒲生スマートIC建設促進既成同盟会が発足され、今後国に設置要望される。ICが設置されることにより、地域の産業や観光振興、交通機能の充実のほか、救急医療施設への搬送時間の短縮や災害時や緊急時の対応効果、物流の効率化や企業誘致といった整備効果があり、活力ある地域づくり、豊かな暮らしの実現を図るため、近江八幡市や日野町方面へのアクセス道路網の整備が必要となってくる。

本市の目指すべき道路行政として、広域交通軸の機能向上、市内及び周辺市町との道路網を強化し、渋滞緩和対策を進め、日常生活における移動の利便性の向上を図るとともに、歩行者や自転車が安心して通行できる安全な道づくりを行なう。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県東近江市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	近畿地方は、地震活断層が多く、活断層の巣といわれている。このため、国道沿線の道路網整備を行ない、緊急時、災害時の輸送道路の整備が重要である。	○ 期待する効果や評価等 地球温暖化による異常気象による集中豪雨、各地で発生している地震等での緊急時や災害時に対応できる道路網整備を行なうことにより、地域住民の生命を守り、緊急輸送道路の確保ができる。	